

# ぎょうだ 自治連だより

～親しみやすい自治会・そしてもっと身近な自治会～

第93号

行田市自治会連合会  
広報部  
会

編集・発行



## 自治会長研修実施報告

令和5年11月22日(水)23日(木祝)、4年ぶりに自治会長研修が実施され、81名の参加で三島市の移住施策について研修を受けました。スライドを見ながら、三島市の紹介があり、市外・県外からのアクセスの良さ、自然環境や文化的な環境が整備されていることなどが挙げられました。

三島市では移住や就業支援制度を設けています。移住した場合、5年間は三島市で生活することが条件となっていますが、2人以上の世帯に100万円の支援補助金を出しています。また、移住する若い世代や、子育て世代が行う、リフォーム工事が10万円を超えるものに対して、いくつかの条件がありますが、一部補助しているという説明もありました。

三島市の自治会連合会では、毎月正副会長会、2ヶ月に一度の理事会、三嶋大祭という大きな祭を開催する山車委員会等があります。行田市との名称の違いはありますが、同じような組織であると思います。

三島市とは異なりますが、行田市では空き家が多くあると聞いています。たとえば空き家を安く貸し、そこから通勤してもらったり、多くの若い方が農業に興味を持っていると聞きますので、農家の空いている土地を無料で提供し、野菜などを作り、体験しながら移住を考えてもらうことができると良いと思います。埼玉近県でも若い方の受け入れをし、いろいろな事業を展開することで移住者も増え、結果が出ているようです。ぜひ考えてみてはいかがでしょうか。

研修部会長 高鳥和子

みんなで学ぼう!

# 防災の取組み特集



日時：令和5年10月2日(月)  
参加者：防災部会員  
講師：熊谷気象台  
場所：商工センター403研修室



防災部会員対象

気象出前講座を開催しました

近年、地球温暖化による異常気象が世界で多発しています。日本でも全国各地に線状降水帯が発生し、洪水の被害が起きています。

当防災部会では、昨年度は大地震や水害対策として仮設避難所を設置し、市民を対象とした見学会を実施しました。今年度は、熊谷気象台の気象情報官を講師としてお招きして、気象災害の知識や大雨をもたらす気象現象（前線・低気圧・台風）について御講演いただきました。自分の地域で起こり得る災害を市発行のハザードマップ等で事前に把握しておくことや埼玉県における大雨の特徴、また、大雨災害から身を守る事等、災害対策のノウハウの説明があり、今回の学びを今後の生活に活かしたいと思えます。

行田市で最も起こりやすい大雨による災害は、「内水氾濫」です。これは、河川の水位上昇や多量の降雨などにより、河川域の排水が困難となり、浸水してしまうものです。令和元年10月には、台風19号により佐間地区を中心に被害が発生しました。昔からの言い伝えに「災害は忘れたころにやってくる」と言われていましたが、今はいつでもどこでもやってきます。普段から災害に備えて準備していただきたいと思えます。

防災部会長 羽鳥嗣郎

## 命を守るためにできること

- 自らの命、大切な人の命を守るために今から準備しておきましょう。
- 非常用持ち出し袋の準備
- 水や食料の備蓄
- 避難所や避難経路の確認
- 命を守る行動を
- 防災情報の確認等



## 林区自治会の自主防災会について



日頃から、自治会活動にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。でございます。

このところ、認知症は年々増加傾向にあり社会問題になっています。今回の防災会では、まず認知症についての勉強をいたしました。認知症の方が令和7年には700万人になり、65歳以上の5人に1人が認知症になると予想されています。

次に、行田市消防署の職員の方々より、消火訓練とAEDの訓練をいたしました。焦らず落ちついて対処することが大切とのこと。最後に非常食の試食会をしました。

ところで、当自治会では、先般、皆様との絆をさらに強化するために、黄色い防災ベストを用意しました。防災ベストを着るとさらに連帯のスイッチが入ります。

昨年度以降、新たに2人の防災士が誕生しました。また、組織上では①情報収集伝達班 ②消火班 ③救出救護班 ④避難誘導班 ⑤給食給水班を設け、今後、さらに⑥要支援者救護班を増設して、要支援者の方々にも寄り添った優しい対応をしたいと思えます。

また、自然災害はいつ起こるかわかりません。いつも危機感を持って対応できるように努力したいと思えます。

長野地区林区自治会  
会長 高島茂夫

### 太井地区の取組み

11月4日(土)・5日(日)、秋空快晴のもと地区文化祭において、文化展示・芸能発表が多くの役員とスタッフにより開催されました。また、屋外5か所のテントで、軽食接待や認知症検査、体力測定、子供向けの各コーナーが運営され大勢の来場者がありました。

太井地区では「地域防災力の強化」を中心テーマに防災機材の展示と解説、自治連と自治会の認知度の把握、更に個人の防災意識についてアンケートで確認調査を行いました。

同時に、社会福祉協議会の支援で避難生活での工夫紹介や避難生活での便利グッズ展示と作成体験が行われ、大変盛況なコーナーになりました。

地域の声を行政に伝えて、対等なパートナーとして、市と共に生活向上とより良い生活環境作りを行う事を自治連の務めとし、これからの地域と自治連が共に協力、前進できるように努力する所存です。

また、自治会では、様々な事業活動を通じて交流を深め、困った時に隣近所で助け合いのできる地域を目指し、事業推進いたします。

太井地区自治会連合会

会長 栗原三郎



### 佐間地区の取組み

#### 防災訓練の開催について



令和5年11月5日(日)佐間公民館で、社会福祉協議会の応援をいただきハイゼックス(炊き出し用袋)による炊き出し訓練やピントルテントの設置、防災倉庫内のチェック、防災相談等を行いました。地区全体の訓練はコロナ禍前と今回とで2回目です。今回の訓練には120名が参加し、新たに防災士となった方にも訓練現場の体験をしてもらいました。防災士の方たちには、今後自主防災の中で、リーダーとしての活躍を期待しています。

佐間地区では令和元年10月12日(土)から13日(日)にかけて台風19号の影響により緑町、向町、佐間2丁目地区で浸水被害等を受けました。自治会によっては避難所の開設や現実に避難を経験しました。地区内で避難所までの道路が冠水してたどり着けなかった方や、浸水により別の避難所へ移動した方もいました。

佐間地区は各自治会の防災の取組みは温度差がありますが意識は高い地区です。令和5年夏は猛暑であり地球規模の温暖化は急速に進んでおり、今後、どの地域でも線状降水帯や竜巻が発生する確率が高くなると専門家の話もあります。加えて南海トラフ

首都直下型地震が起こるとも言われており、これからは地域でできる防災対策を訓練しておくことが必要です。地区単位での防災訓練では、様々な意見交換をすることができました。

佐間地区自治会連合会

会長 長岡幸雄

### 訓練参加者からの主な質問

- ① 地域の安全確認方法はある？
  - ② 市内どこが避難所でも避難して良いのか？
  - ③ 防災情報はどこで収集できる？
  - ④ 家庭でできる災害への備えは？
- ▲ 避難場所の確認、非常用の持ち出し袋の用意、家具の固定など様々な備えがあります。



**花いっぱい推進運動 埼玉地区の取組みについて**

埼玉地区自治会連合会では、花いっぱい推進事業として以前から活動を進めてきました。

埼玉小学校では、今年開校150周年を迎え、記念式典に向けた花壇を児童たちやPTAで整備し、ボランティアの方々により植栽や植え替えを行いました。その後も、児童たちにおける花の管理や水やりを定期的に行っています。

埼玉中学校では美化活動の一環として、校舎に接する花壇に植栽し、草花の大切さと地球環境について考え、学んでいます。また、来校者からは、児童・生徒たちの活動について理解をいただき、その素晴らしさについて好評をいただいています。

埼玉公民館では公民館活動をしている方々により、花いっぱい推進事業に協力をいただき、地域の方々の心を癒す活動として、公民館の周辺及び地域の方が行き交う場所に植栽し、住民の方々から大変喜ばれています。

埼玉地区自治会連合会 会長 萩原 実



**長野地区の取組み「絆20」**

長野地区自治会連合会は、以前から地域の防災に関し、地区内の自治会長を対象にした研修を行うなど、積極的な活動を進めてきました。その活動や協議の中で、「地域の要支援者をどう支援するか」「日頃の生活支援も必要なのではないか」など、福祉的な視点を持つようになりました。

このような動きの中で、いざという時に支援できる関係を作るには平時からの繋がりが必要と考え、地域住民と共に福祉課題の解決に向けて取り組んでいる行田市社会福祉協議会と一緒に、長野地区の福祉課題を協議する場を継続して設けることになりました。

令和2年にこの協議する場の愛称を参加者の皆様から募り、長野地区の20自治会があらゆる課題に対して協力し、助け合い、その絆を強めていきたいとの願いをこめて「絆20(きずなトゥエンティ)」に決定しました。新型コロナウイルス感染症や台風の影響等で何度も会議の延期をしなければなりませんでした。令和3年9月に、災害時避難行動要支援者を地図上に落とし込んだ、「支えあいマップ」を作成することができました。「支えあいマップ」は各自治会に配付し、自治会内の情報共有に活用いただいています。

令和5年11月25日(土)には、自治会連合会と社会福祉協議会、市の三者が協力し、福祉サービスに関する学習会を長野公民館で開催し、自治会長と東部地区民生委員協議会役員のうち長野地区を担当している方に参加いただきました。学習会は、市内の地区連合会としては初で、説明者と参加者が話しながら進める対話型方式で行いました。参加者は説明を聞くだけでなく、支援を必要とする方の実際の場面を想定しての質問や意見交換、また、経験談の発表に真剣に聞き入るなどしており、活発な学習会となりました。

行田市健康福祉部

高齢者福祉課

**編集後記**

コロナ禍もやっと下火になりました。それに伴い各自治会活動もだんだんと活発になってきました。今回の自治連だよりはいつ訪れるか分からない自然災害に対応した地域防災活動を主体に取り上げました。各地区での具体的な取組み状況を紹介しましたのでこの内容を参考に災害に備えた各自治会での防災体制を構築していきましょう。

また、執筆いただいた方々におかれましてはご協力ありがとうございました。ありがとうございました。

広報部会 渡辺 暁

**ぎょうだ自治連だよりの電子版はこちら!**

●自治会に関する情報を発信しています。

